

科目名	保健福祉行政論 Policy for Health & Welfare			担当教員 (研究室番号)	田中 武士（非常勤）		教員への連絡方法 (メールアドレス)				
履修 年次	2年次 前期	科目 区分	専門支持科目	選択 区分	必修	単位数 (時間)	2(30)	授業 形態	講義	科目等 履修生	否
										オープンクラス	否
科目 目的	現代社会における人々の健康状態を含めた生活実態をできるだけ丁寧に把握できるよう努める。社会保障制度全体の体系を意識し、医療保障と介護保障を中心に学び、医療や介護を要する人々の人間らしい生活を保障するために必要な知見を身につけることを目的とします。										
ディプロマ・ ポリシー (DP)	主要なDP	B 人々の生活に根ざした看護を実践するための幅広い教養と専門的知識を有している。（知識・理解）									
	関連するDP	E 地域社会に暮らす人々の生活支援において必要となる情報を分析し、健康課題を解決するための方策を考えることができる。（思考・判断）									
到達 目標	1. 医療保障、介護保障を中心とした社会保障制度・政策を理解する。 2. 保健福祉行政における国や地方公共団体の役割を理解する。 3. 日本の医療制度・介護制度の概要について理解する。 4. 保健・医療・社会福祉に関わる統計の見方を理解する。										
成績評価方法 (基準)		毎講義後の出席確認を含めた小レポート（40%）と定期試験（60%）で総合的に判断する。 なお正当な理由のない遅刻は出席扱いとしない。									
再試験等		不合格者全員を再試験受験資格者とする。再試験は筆記試験のみとする。									
教科書		福田素生、稲沢公一ほか（2025年）健康支援と社会保障制度 [3] 『社会保障・社会福祉』医学書院。									
参考書等		講義中に適宜紹介する。									
学生の主体性を伸ばす ための教育方法と学生 への期待		本講義は講義形式が中心ではあるが、毎講義後に小レポートを課す。講義中には新聞記事や映像なども用い、問題意識の喚起と主体的に知見を獲得しようとする学習意欲の向上を図る。受講生の理解度に応じて講義内容を多少変更する場合もある。									
備考											
回	学習項目			学習内容					主担当 教 員	授業 方法	
1回	講義概要と評価方法についての説明 保健医療福祉行政と社会保障の関係性			私たちの生存権保障と社会保障の関係について学ぶ					田中	講義	
2回	社会保障制度と社会福祉（1）			社会保障の概念と目的を学ぶ					田中	講義	
3回	社会保障制度と社会福祉（2）			社会福祉の法制度を学ぶ					田中	講義	
4回	現代社会の変化と社会保障・社会福祉			社会保障・社会福祉の動向を学ぶ					田中	講義	
5回	医療保障（1）			医療保障制度の構造と体系を学ぶ					田中	講義	
6回	医療保障（2）			健康保険と国民健康保険、高齢者医療制度を学ぶ					田中	講義	
7回	介護保障（1）			介護保険制度の概要、制度のしくみを学ぶ					田中	講義	
8回	介護保障（2）			介護保険制度の課題と展望を学ぶ					田中	講義	
9回	所得保障			年金、社会手当、労災等を学ぶ					田中	講義	
10回	公的扶助			生活保護制度を学ぶ					田中	講義	
11回	社会福祉の分野とサービス（1）			高齢者福祉を学ぶ					田中	講義	
12回	社会福祉の分野とサービス（2）			障害者福祉を学ぶ					田中	講義	
13回	社会福祉の分野とサービス（3）			児童家庭福祉を学ぶ					田中	講義	
14回	社会福祉実践と医療・看護			個人の尊重と生存権保障を学ぶ					田中	講義	
15回	まとめ			講義全体の振り返り					田中	講義	

学 習 課 題

- 1 回目課題（事前）：日々の生活の中にはどのようなリスクが潜んでいるのかを考えてみる
- 3 回目課題（事後）：社会保障制度の概念と目的ついてについてまとめる
- 6 回目授業（事後）：医療保険制度の仕組みについてまとめる
- 8 回目授業（事後）：介護保険制度の仕組みについてまとめる
- 10 回目授業（事後）：生活保護制度についてまとめる
- 14 回目授業（事後）：生存権保障についてまとめる

実務経験を活かした教育の取組

医療機関での相談援助の実務に20年以上従事し、大学院博士後期課程（社会福祉学）を修了。実務家、教員としての経験を十分に活かし、実践的教育を行う。